

<新しい公共運営委員会関係資料>

<別配布資料>

資料5. 新しい公共の場づくりのためのモデル事業関係	…P 1
資料6. 地域別いきいき活動支援ネットワークづくり事業関係	…P 6
資料7. 各種ソフトウェアの開発について	…P 10
資料8. 新しい公共を創造する連携フォーラムについて	…P 11

平成 23 年度事業監査に伴う、平成 24 年度事業への意見

「テーマコミュニティとエリアコミュニティの融合による新しい支え合いの仕組みづくり」

【平成 24 年度事業計画における留意点】

1. 融合させる仕組みの核となるスマイルデスクの将来像

- ①期待する役割
- ②位置づけ
- ③平成 25 年度以降の事業計画
- ④益田市の事業継続への支援

2. 平成 23 年度の課題と対応策の明示

(課題)

- ①「エリアコミュニティの課題 ⇒ テーマコミュニティで解決」という取組みができていない
- ②プログラム構築まで、収益へつなげる取組みまで至っていない

(対応策)

- ①エリアコミュニティの課題を、テーマコミュニティで解決する仕組みづくり
- ②何らかの収益につながる仕組みづくり、または収益に代わる財源の確保

■5 月以降の主な動き

対応策①について

- ・益田市市民活動センター登録団体を増やし、団体のできることと地域の課題をスマイルデスクにおいてマッチングする。

※登録団体数：4 団体 (H24.3) →14 団体 (H24.7)

※スマイルデスクスタッフが、各地区振興センターに聞き取り調査実施

対応策②について

- ・地産地消の保育所給食事業では、真砂地区 (H23) のほか、中西地区にも広げる。そして、手数料収入についても検討開始
- ・みんなでエネルギーシフト事業では、H23 に益田市地球温暖化対策地域協議会環境基金を設置し、レジ袋の収入を積み立てていくこととなった。H24 はこの基金を使い、様々な活動団体への事業助成を行う仕組みを構築。
- ・中間支援的な機能を充実するため、ワンコインセミナーを開催。今後の講座参加費収入の検討を開始。

平成 23 年度事業監査に伴う、平成 24 年度事業への意見

「新しい公共による黒沢地区まちづくりモデル事業」

【平成 24 年度事業計画における留意点】

1. しくみの核となる「てご屋しんたく」の将来像

- ①期待する役割
- ②位置づけ
- ③平成 25 年度以降の事業計画

2. 平成 23 年度の課題と対応策の明示

(課題)

- ①地元への浸透、認知度の向上
- ②収益確保に向けた取り組みが不明確

(対応策)

- ①「てご屋しんたく」へ人が集まる・地域に根ざすための理解者を増やす仕組みづくり
- ②収益事業（具体的な成果目標（耕作放棄地解消・薬草栽培）、収益の見込み、その他の事業開拓（ごようきき、困りごと解決））
- ③里山保全の取り組みの継続と、雇用による具体的な効果の現出
 - ・二人を雇用した具体的な成果は何か、最大限活用する仕組みづくり。
 - ・二人が平成 25 年度以降も事業に関わっていける、または里山保全などこの事業の取り組みが継続する仕組みづくり

■5 月以降の主な動き

対応策①②について

- ・イベント（講演会など）の開催
- ・薬草栽培 など

(今後の検討)

- ・産直野菜などの販売
- ・カフェの設置
- ・スーパーマーケットと連携した商品販売
- ・特産品の開発

対応策③について

- ・レンタル牛の検討
- ・補助事業導入検討

平成 23 年度事業監査に伴う、平成 24 年度事業への意見

「共同受注・共同配送による買い物弱者支援事業」

【平成 24 年度事業計画における留意点】

1. 共同事業の「諸サービス」の考え方

- ①期待する役割
- ②位置づけ
- ③平成 25 年度以降の事業計画
- ④松江市の事業継続に向けた支援策

2. 平成 23 年度の課題と対応策の明示

(課題)

- ①モデル地区地元との調整（取り組みへの理解度、必要性）
- ②ステークホルダー内の役割分担
- ③取組内容発信（地元からの信頼性、協力、支援）
- ④事業実施のためのビジネスモデルの構築

(対応策)

- ①ステークホルダーの体制再構築
- ②将来性をふまえた事業計画の再検証（資金繰りも含め）
- ③地元ニーズの再検証、意見の集約（取り組みへの理解、必要性の有無）
- ④雑賀地区での事業実施の再検証

■5 月以降の主な動き

対応策②について

- ・ 1 件あたり手数料 2 1 0 円に統一
- ・ 協力事業者からの配達代行手数料による必要事業費の確保

対応策③について

- ・ 戸別広報活動に加え、自治会施設などを訪問して直接説明
- ・ ケアマネージャー、産婦人科など訪問による顧客拡大

対応策④について

- ・ 平成 17 年市町村合併前の旧松江市までエリア拡大

平成23年度事業監査に伴う、平成24年度事業への意見

「さくらおろち湖周辺地域再生事業」

【平成24年度事業計画における留意点】

1. 地域活性化の中心を担う「尾原ダム地域づくり推進連絡協議会」

- ①期待する役割
- ②位置づけ
- ③平成25年度以降の事業計画
- ④雲南市・奥出雲町の事業継続に向けた支援策

2. 平成23年度の課題と対応策の明示

(課題)

- ①数値的目標に対する満足度
- ②交流人口の性質別検証（スポット的または継続的）
- ③事業の全体像が不明確

(対応策)

- ①自転車施設、ボート施設利用計画の整理（目標との整合性）
- ②ガイド的役割を果たす地元人材との連携（地元の理解）
- ③イベント情報の発信（交流人口の増大）
- ④事業費の全体像と、モデル事業の棲み分け

■5月以降の主な動き

対応策④について

- ・尾原ダム湖周辺の環境整備（美化活動、ワカサギ釣りスポット整備 など）
- ・伝統文化継承（出雲神話）
- ・尾原ダム湖周辺情報全般に関する広報活動

その他、他の補助を利用した地域の伝統食文化を通じた交流事業や、NPO法人さくらおろちが実施する田舎暮らし体験プログラムなどがある。

平成23年度事業監査に伴う、平成24年度事業への意見

「松江・島根・市民ネットワークによる震災支援事業」

【平成24年度事業計画における留意点】

1. 核となる「支援協議会」

- ①期待する役割
- ②位置づけ
- ③松江市の事業継続に向けた支援策

2. 平成23年度の課題と対応策の明示

(課題)

- ①ステークホルダー内の役割分担
- ②支援手段のポイントを絞る（被災県産品販売の位置づけが不明確）
- ③県内被災者への支援（被支援者の声）

(対応策)

- ①より多くのステークホルダーが参加する道筋の確立
- ②島根NPO連絡協議会・松江地域振興予算ゼロ課の位置づけの明確化
- ③松江市民が支援するスキームの強調
- ④ボランティア参加者等からの多様な意見に対する調整

■5月以降の主な動き

対応策③について

- ・3名以上の住民グループを対象とした支援活動助成
- ・被災地へ中古耕運機を寄贈し農業再開に役立ててもらおう

対応策④について

- ・福島ローカル新聞の取り寄せ、交流スペースとしての役割
- ・ネクスト島根と被災地とのボランティアメニューのマッチング

人が「つどい」「まなび」「くつろげる」

図書館を考えるシンポジウム

入場
無料

日時

7月21日(土) 13時30分～16時

会場

黒川町JAIいわみ中央

2階ふれあいホール
(駐車場:東公園内ふれあい広場)

講演

『これからの浜田市の図書館』

浜田市教育委員会
図書館準備室長

島田正樹氏

『地域の情報拠点としての

図書館の可能性』

——こんな図書館はいかが?——

鳥取県立図書館
支援協力課長

小林隆志氏



《プロフィール》

鳥取県立図書館 支援協力課長・ビジネス支援図書館推進協議会 理事。1963年生まれ。平成19年度より現職。お客様の「夢が叶うこと」、「課題が解決すること」に貢献できるよう、日々奔走中。常に、「図書館が変わると日本が変わる」と胸を張って言える図書館員でありたいと考えている。
《著書等》 市民生活の活性化を支援する図書館サービス など

《プロフィール》

1958年、長野県諏訪市生まれ。32年間図書館関連の民間企業に勤務し、今年3月退職。4月から浜田市教育委員会図書館準備室長として新図書館の開館準備にあたる。同新図書館館長に就任予定。

《新図書館の概要》

現在、黒川町の旧浜田医療センター跡地に建設中であり、来年夏に開館予定。延べ床面積約2,800㎡、最大収容冊数30万冊(うち、開架冊数約10万冊)を計画。

- ①人が「つどい」「まなび」「くつろげる」図書館
- ②「郷土」に生きる喜びを発見し、郷土への愛情を醸成する図書館
- ③ユニバーサルデザインに配慮した図書館
- ④社会教育推進の役割を担う図書館

主催:「図書館を核としたまちづくり事業」実行委員会 後援:浜田市・浜田市教育委員会
問合せ:実行委員会事務局 TEL(0855)25-0640

<団体ブログより>

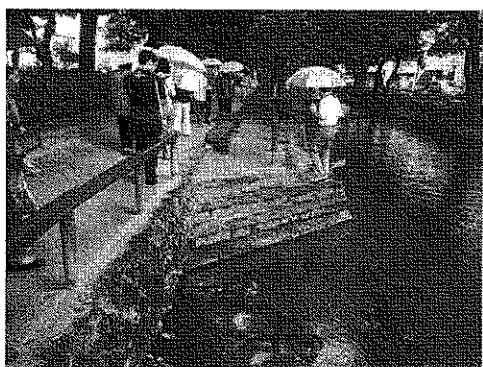
図書館を核としたまちづくり事業 「まちづくり事業」先進地視察

6月30日（土）、「図書館を核としたまちづくり事業」の先進地視察のため、岡山市内の西川緑道公園と、赤磐市の中央図書館を訪れました。大型バス一台をチャーターし、まさに老若男女、いろんな立場の方が40名参加いただきました。

最初に行った西川緑道公園は、現在行っている「憩いの水辺づくり」でどのような水辺を整備するのか参考にするため、県立大学の寺田先生の紹介を受けて訪れたものです。公園の規模は比べるまでもなく大掛かりなものでしたが、そのコンセプトについては、今後の「憩いの水辺づくり」を考える上で参考になりました。

また、赤磐市立中央図書館は、開館4年を迎え、さらに充実した取り組みをしておられました。土曜日とはいえ、多くの方が来館されており、それだけでも図書館の取り組みが充実していることがわかります。対応は、館長のほか、教育長、そして帰る頃には、赤磐市長も参加していただきました。

参加された皆さんには、それぞれの立場で、いろんなことを感じていただいた先進地視察になったと思います。このことが、今後の「まちづくり事業」に必ずや寄与することを信じています。



元気の森と人のどよみ

江の川周辺で

にしたい

好き本心の総合窓口 Part 1

バスツアー

● … バスツアー訪問先(予定)

7月10日(火) 13:00~17:00

受付開始: 12:30

集合場所: 川本町笹遊里

川本町大字川下3005-2

TEL 0855-72-2450

定員: 50名

参加費: 無料

懇親会

7月10日(火) 18:00~20:00

場所: 湯谷温泉 弥山荘

川本町湯谷781-2

TEL 0855-72-2645

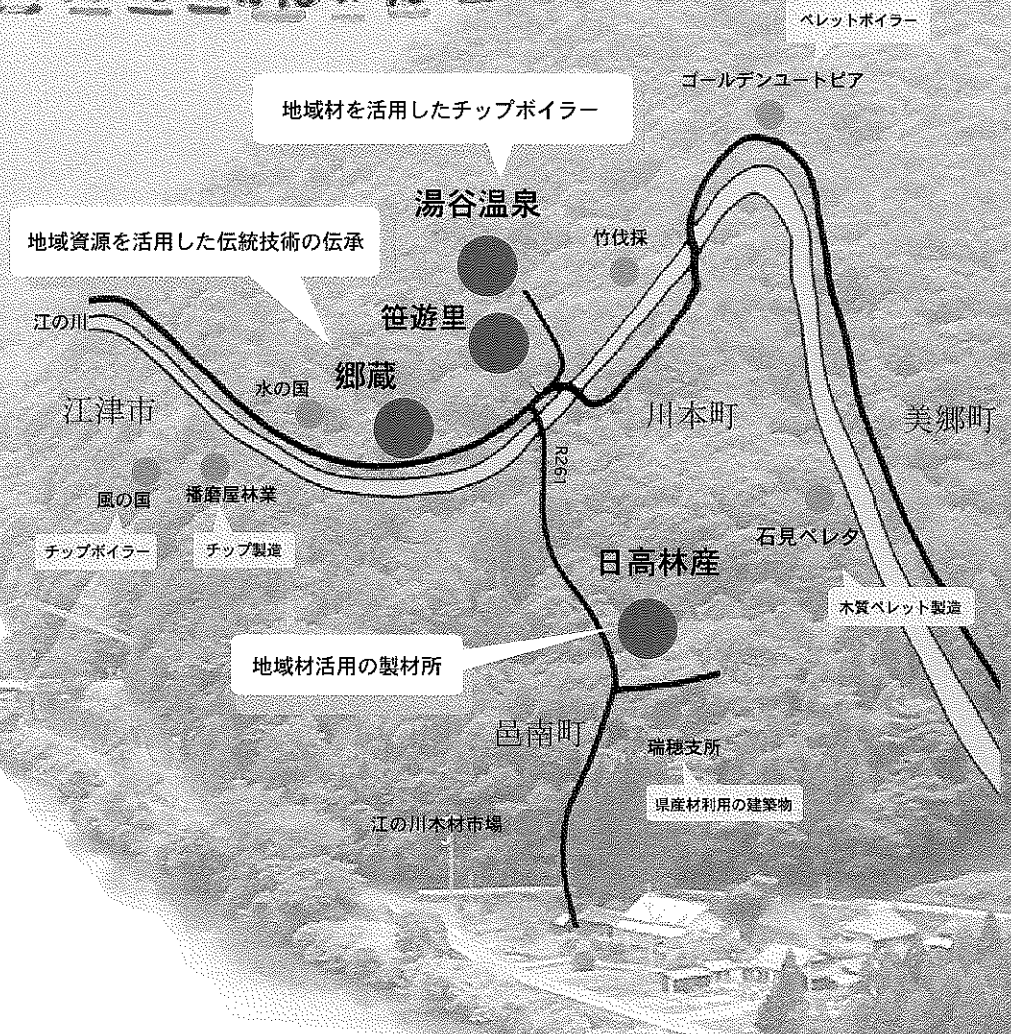
参加費: 3,500円

(温泉入湯券込)

※懇親会后、笹遊里までお送りします

宿泊: 川本町笹遊里

3,500円(朝食付)



講演会・意見交換会 7月11日(水) 9:00~

「地宝論~江の川周辺の地域資源循環」

場所: 川本町笹遊里

参加費: 500円(弁当代として)

講師: 田中優氏

「社団法人天然住宅」共同代表、「未来バンク事業組合」理事長、「日本国際ボランティアセンター」、
「足元から地球温暖化を考える市民ネットえどがわ」、「ap bank」などの理事・顧問



「そもそも森を守るしくみが作りたいのです。日本の地方の最大資源は森なので、それを利用して人々が生きられるしくみが作れるはず。地域でエネルギー自給できるしくみ、さらに家は省エネで、電気やエネルギーを家で自給できるしくみも必要です。……各地の森の復活と、雇用を生み出せるようにしたいと思っています。」(田中優氏メルマガより抜粋)

主催: 樹冠ネットワーク
 後援: 邑南町、川本町、江津市、島根森林管理署、島根県西部農林振興センター、島根県木材協会邑智支部、美郷町、森林(もり)を守る山陰ネットワーク会議
 協力: 今井産業、石見ベレッタ、NPO法人緑と水の連絡会議、NPO法人もりふれ倶楽部、邑智郡森林組合、協同組合ヴァーテックス、江津市森林組合、江の川流域林業活性化センター、江の川を考える会、しまね炭焼協議会、千代延林業、播磨屋林業、ホリテックカレッジ島根、森下建設、森下コンストラクター、理想の山里づくり実行委員会 (アイウエオ順)

樹冠ネットワークとは？

江の川周辺で森林をキーワードに活動する団体です。
 森林が大好きで、自然や先人の知恵に学びたい気持ち
 を持った人たちが集まっています。
 現在は、「適材適所」と「協力」をモットーに、江戸
 時代の郷蔵をみんなの力で再建しています。
 また、地域子どもたちや一般を対象とした森林教室
 も行っています。

目指すものは？

江の川周辺で森を元気にしたいという気持ちを持つ人・
 団体のゆるやかなネットワークづくりを目指します。
 お互いに知り合い、話し合い、協働で取り組む中で、豊
 かな自然を有効に活用する方法をみつけないかと考えてい
 ます。私たちは、森林教室などのイベントを通して一般
 の方々や子ども達に「森で働く人のこと」や「木がどう
 やって家やエネルギーになるか」を伝えています。
 今回の事業を通して、木が好きな人たちと、木に好奇心
 を持つ人たちの双方向の関係を築く「好木心の総合窓
 口」の役割を担っていきたいと願っています。

いきいき活動支援ネットワークづくり事業とは？

NPO、企業、行政などが地域課題を協働で
 解決するためのネットワークづくりを目的と
 した事業です。島根県が推進する新しい公共
 事業の一環です。

「好木心の総合窓口」今後の予定

★Part2 森林教室

日時：2012年8月19日（日）（または12日）

場所：桜江町水の回

内容：ヒノキ間伐材を使った小物かけ作り
 & 森の産物紹介コーナーなど

★Part3 有用樹木観察会

日時：2012年11月17日（土）

場所：美郷町内森林

講師：神田博史氏（安田女子大学教授）、
 井上雅仁氏（三瓶自然館学芸員）

★Part4 現地視察バスツアーその2

2013年2月予定（視察先は表面地図参照）

「平成24年度地域別いきいき活動支援ネットワークづくり事業」

■ 参加申込書

FAX送付先0855-72-1999

申し込み締切…6/30(土)

参加者氏名	住所	TEL	Eメール

7/10	バスツアー	懇親会	宿泊
7/11	講演会	昼食・意見交換会	

※参加を希望するものに○(または人数を記入)をしてください。

■お問い合わせ・申し込み先

TEL 090-4579-4634 (樋口) または 090-5262-6487(武安)

Eメール：jukan5@yahoo.co.jp FAX：0855-72-1999(樋口)

各種ソフトウェアの開発について（案）

1. 島根いきいき広場に寄附に関するページ追加

■内容：

新しい公共の担い手である NPO 等への寄附を促進するため、寄附及び NPO 等の活動を紹介するホームページを追加する。

(1) 寄附に関するページ

- ・ 県民いきいき活動
- ・ 寄附の種類、寄付先、寄附方法
- ・ 寄附者のメリット
- ・ 寄附状況（しまね社会貢献基金登録団体）

(2) NPO 活動紹介ページ新設

- ・ しまね社会貢献基金登録団体の活動状況の紹介
- ・ 寄附の使い道、使った実績

2. NPO 支援データベース制作

■内容：

NPO の抱える様々な課題を解決するためには、各団体に対して、よりきめ細やかな支援が必要となる。

そこで、各団体の実態や相談内容、各種講座受講履歴等を把握・整理し、各団体に必要な支援ができるよう、それらのデータを管理する NPO 支援データベースを制作する。

■制作主体：

県、県民活動支援センター（(公財)ふるさと島根定住財団）

■時期：

平成24年8月～平成25年3月

島根いきいき活動体感フェスタ 2012 (案)

(新しい公共を創造する連携フォーラム事業)

1. 趣旨・目的

- ・ 県民いきいき活動の普及
- ・ しまね社会貢献基金及び登録団体の PR
- ・ 県民いきいき活動促進のためのロゴマーク及びキャッチフレーズ表彰式

2. 概要

- 日時：平成 24 年秋
- 場所：調整中

3. 内容

■ ステージイベント

- 10:00 開場（先着プレゼント配布）
- 10:10 開会挨拶、ロゴキャッチ受賞者表彰式、ゲストトーク
- 11:00 子ども向けイベント
- 12:00 しまね社会貢献基金 PR
- 13:00 ゲストトークショー等
- 14:30 プレゼント抽選会（スタンプラリー）
- 15:00 閉幕

■ 出店ブース

- ・ 社会貢献基金登録団体
- ・ 寄附付き商品販売企業
- ・ NPO 出店
- ・ 一般出店（飲食関係）
- ・ 企業ブース設置

■ 体感メニュー（例）

- ・ 「コインで寄附体験！」
- ・ キッサニア「いきいき活動バージョン」
（商品販売、街頭募金、NPO 活動 PR、獲得ポイントで商品交換、環境に関する製品制作、各種 NPO 活動体験など）
- ・ 寄附付き商品購入
- ・ プレイパーク
- ・ いきいき活動図画コンテスト
- ・ バスケットゲーム「シュート入ったら寄附！」

■ ゲストなど現在調整中

